

TOYO ASANO Report 2021

サステナビリティの取り組み

トヨーアサノはこれからも地球温暖化防止に貢献するとともに、
サステナブルな社会の実現に努めてまいります。



未来を支える基礎づくり

株式会社トヨーアサノ

<https://www.toyoasano.co.jp/>



C21.202107.1000

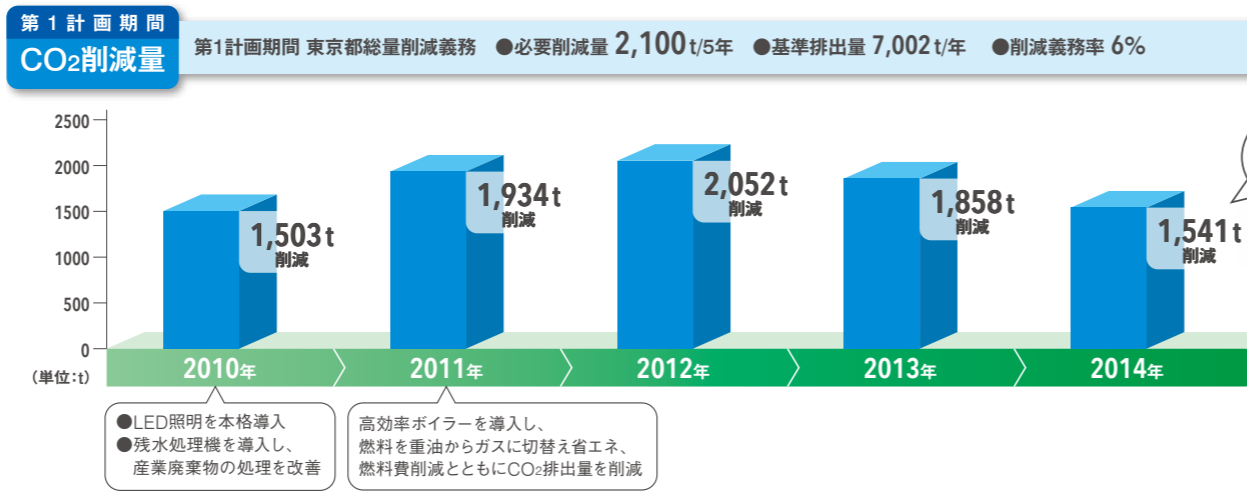
トヨタアサノは責任ある社会の一員として 持続可能な社会を実現するために 地球環境と社会環境に配慮した企業活動に取り組み続けます。

東京工場におけるCO₂削減の取り組み

東京都は2008年7月、環境確保条例を改正し「温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度」を導入しました。トヨタアサノ東京工場は、2009年に特定・指定地球温暖化対策事業所に指定され、2010年4月から削減義務が開始されて以来、CO₂削減に取り組んでまいりました。

第1計画期間 東京都総量削減義務 [2010～2014年]

第1計画期間は基準排出量7,002トン、削減義務率6%、必要削減量2,100トン/5年に設定されました。具体的な取り組みとしてLED照明や環境に配慮された残水処理機を導入しました。その結果、CO₂の総削減量は8,888トンとなり、第1計画期間必要削減量を6,788トン超過して削減義務を達成しました。



高効率ボイラー

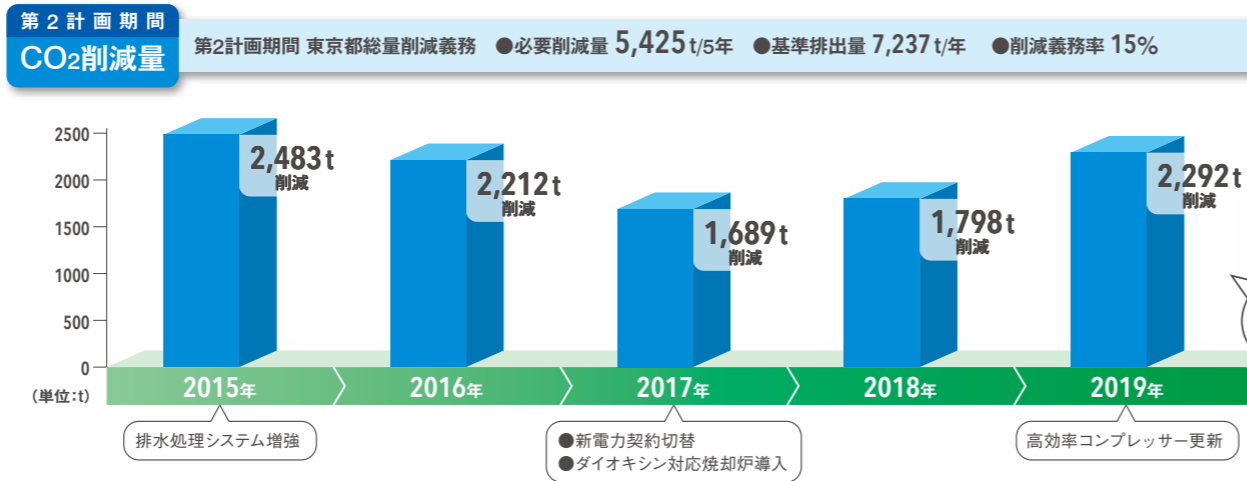
東京2020大会への協力

東京工場は、東京都総量削減義務における第1計画期間と第2計画期間の両期間の超過削減量の合計が、1万トンを超え寄付を行いました。寄付は東京都が取り組むCO₂を排出しない「ゼロエミッション東京」への協力の一環として「東京ゼロカーボン4デイズ in 2020」と2020組織委員会が目指す「東京2020大会のカーボンオフセット」へ行われました。

第1・2計画期間 超過削減量の合計
11,837t

第2計画期間 東京都総量削減義務 [2015～2019年]

第2計画期間は基準排出量7,237トン、削減義務率15%、必要削減量5,425トン/5年に設定されました。具体的な取り組みとして排水処理システムの増強、新電力への切替、ダイオキシン対応焼却炉や高効率コンプレッサーを導入しました。その結果、CO₂総削減量は10,474トンとなり、第2計画期間必要削減量を5,049トン超過して削減義務を達成しました。



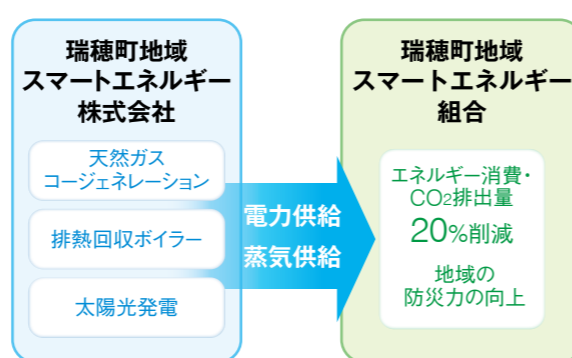
共生社会づくりの実現

トヨタアサノは、多様な人材がその能力を存分に発揮できる組織であることを目指し、障がい者雇用を実施しています。2021年現在、法定雇用率を大きく超える従業員が活躍しており、共に「未来を支える基礎づくり」に日々邁進してまいります。

スマートエネルギー事業の取り組み

トヨタアサノは2019年7月、CDエナジーダイレクト、入間ガス、国際石油開発帝石の3社と共同で新会社「瑞穂町地域スマートエネルギー株式会社」を設立し、新会社及び地域企業5社により組合を設立しました。東京工場内に約1万Kwの天然ガスコージェネレーション設備(発電設備)と約5t/時の排熱回収ボイラーを設置し、電力の供給と付随して

発生する蒸気の供給を行います。本事業については、省エネ・CO₂削減の推進を目的とする、東京都の「スマートエネルギーエリア形成推進事業」の補助金対象事業となっており、2021年4月に事業を開始しました。本事業で約20%の省エネ・CO₂削減と地域の防災力向上など、東京都西多摩郡瑞穂町地域の発展に貢献してまいります。



天然ガスコージェネレーション設備 外観



天然ガスコージェネレーション設備 内観

奨学金支援制度

入社もない社員が安定した経済状況の下で、当社の業務に集中できる環境をつくるため、学生時代に借りた奨学金の返済を支援する制度です。入社後10年間は、奨学金返済金額の一部について、会社が負担します。社員が奨学金返済の心配をせずに働ける安心した職場環境を作っています。

※最大月額2万円(10年間の会社支援額最大240万円)